

ワークシート算出結果と実績比較

～ 量の見込みの算出に向けて ～

【 登別市 】

1. 計画の「量の見込み」設定の考え方

子ども・子育て支援事業計画では、市内の子どもについて、教育・保育等の「現在の利用状況」と「利用希望」を踏まえて「量の見込み」を設定することとされています。

「子ども・子育て支援法に基づく基本指針（案）」では、次の手順で量の見込みの設定を行うこととしています。

(1) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の利用状況及び利用希望の把握

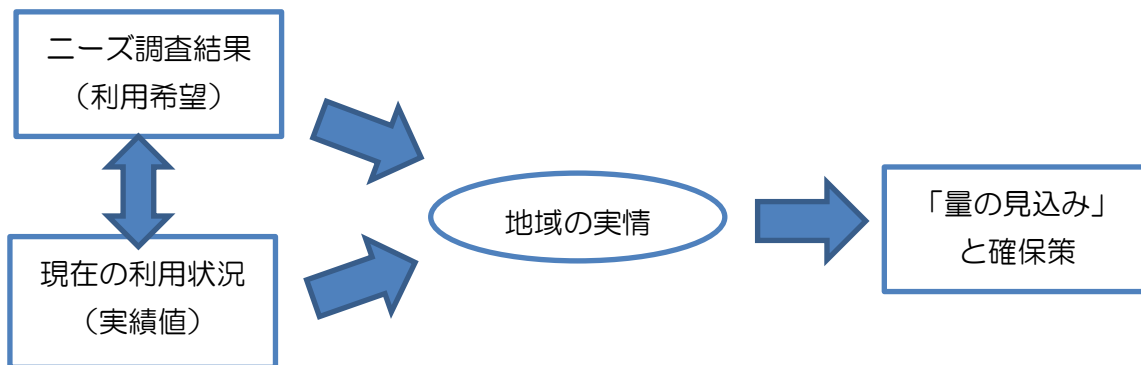
現在の利用状況及び利用希望の把握

市町村は、市町村子ども・子育て支援事業計画の作成に当たり、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況を把握するとともに、保護者に対する調査等を行い、これらを踏まえて教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを推計し、具体的な目標設定を行うこと。

(2) 計画期間における数値目標の設定

数値目標の設定

市町村及び都道府県は、地域の子どもが必要な教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を効果的、効率的に利用できるよう、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況及び利用希望を把握し、地域の実情に応じて、子ども・子育て支援事業計画において、計画期間内における量の見込みを設定すること。



これに伴い、国では「市町村子ども・子育て支援事業計画における量の見込みの算出等のための手引き」（ニーズ調査の結果を基に具体的な量の見込みを算出するための手引き、およびその活用のためのワークシート）を示しています。

この「手引き」では各事業の「量の見込み」の「標準的な算出方法」が示されています。

ここでは、国の示したニーズ調査結果を基にしたワークシートによるニーズ量算出結果と、現在の利用状況（実績）を比較し、計画期間における見込み量の設定方針について検討を行います。

II. 計画期間における年齢各歳別人口

計画期間における市内の対象年齢人口は以下のように推計されています。

0-5歳人口は計画期間中に約150人、6-11歳人口は320人減少する見込みであり、人口の減少傾向が続きます。

＜対象年齢人口の推計値＞

年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
0歳	304	295	290	283	281
1歳	314	304	295	290	283
2歳	338	314	304	295	290
3歳	331	338	314	304	295
4歳	316	331	338	314	304
5歳	323	316	331	338	314
6歳	376	323	316	331	338
7歳	386	376	323	316	331
8歳	412	386	376	323	316
9歳	377	412	386	376	323
10歳	384	377	412	386	376
11歳	455	384	377	412	386
合計	4,316	4,156	4,062	3,968	3,837
0-5歳計	1,926	1,898	1,872	1,824	1,767
6-11歳計	2,390	2,258	2,190	2,144	2,070

III. ニーズ調査結果による潜在家族類型

国のワークシートではまず「家族類型」を算出し、家族類型別に対象事業を定めニーズ量を算出します。家族類型の算出結果は以下の通り。

■ 潜在家族類型

	全体		年齢別 (%)		
	件数	%	0歳	1・2歳	3歳以上
タイプA ひとり親	40	6.6%	4.9%	6.1%	7.5%
タイプB フルタイム×フルタイム	143	23.6%	31.1%	22.3%	21.5%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	70	11.6%	9.0%	12.8%	11.9%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	113	18.7%	4.1%	16.9%	24.8%
タイプD 専業主婦(夫)	235	38.8%	48.4%	41.9%	34.0%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	1	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	1	0.2%	0.8%	0.0%	0.0%
タイプF 無業×無業	2	0.3%	1.6%	0.0%	0.0%
全体	605	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

IV. 教育・保育の量の見込みの算出

(1) ワークシートによる算出方法（1号2号3号認定）（平日日中の教育・保育）

量の見込みの算出は次の手順で行います。

$$\begin{aligned} & \text{「推計児童数（人）」} \times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家族類型別児童数（人）」} \\ & \text{「家族類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向率（割合）」} = \text{「量の見込み（人）」} \end{aligned}$$

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

(ア) 1号認定（認定こども園及び幼稚園）

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプD（専業主婦（夫）） タイプE（パートタイム×パートタイム） タイプF（無業×無業）	3～5歳	今後利用したい事業として下記のいずれかを選択した者の割合 ・幼稚園（通常の就園時間の利用）

(イ) 2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	3～5歳	現在利用している事業として下記を選択した者の割合 ・幼稚園（通常の就園時間の利用）

(ウ) 2号認定（認定こども園及び保育所）

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	3～5歳	今後利用したい事業として下記を選択した者から、(2) 2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強い）を引いた者の割合 ・幼稚園（通常の就園時間の利用） ・幼稚園の預かり保育 ・認可保育所 ・認定こども園 ・小規模な保育施設 ・家庭的保育（保育ママ） ・認可保育所 ・事業所内保育施設 ・その他の認可外保育施設 ・居宅訪問型保育

(工) 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	0～2歳	今後利用したい事業として下記のいずれかを選択した者の割合 ・認可保育所 ・認定こども園 ・小規模な保育施設 ・家庭的保育（保育ママ） ・認可保育所 ・事業所内保育施設 ・その他の認可外保育施設 ・居宅訪問型保育

(2) ニーズ調査結果（平日日中の教育・保育）と実績値

■0歳家庭

①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

人

	H27	H28	H29	H30	H31	
タイプA ひとり親	2	2	2	2	2	
タイプB フルタイム×フルタイム	77	75	74	72	71	
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	27	27	26	26	25	
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0	
全体	107	104	102	100	99	(充足率) 35.3%

<実績値>

【各年5月1日現在】

		H21	H22	H23	H24	H25
0歳児	計	24	22	16	30	15
	公立保育	16	22	12	21	10
	認可外保育	3	0	0	2	0
	事業所内保育	5	0	4	7	5

■1・2歳家庭

①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

人

	H27	H28	H29	H30	H31	
タイプA ひとり親	26	25	24	24	23	
タイプB フルタイム×フルタイム	119	113	109	107	105	
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	70	65	63	63	62	
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0	
全体	216	203	197	194	190	(充足率) 33.1%

<実績値>

【各年5月1日現在】

		H21	H22	H23	H24	H25
1・2歳児	計	172	129	177	147	138
	公立保育	137	129	140	121	112
	認可外保育	10	0	8	4	8
	事業所内保育	25	0	29	22	18

■ 3歳～就学前家庭

- ・ 幼稚園利用

①<1号認定>(認定こども園及び幼稚園)

人

	H27	H28	H29	H30	H31
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	226	229	229	223	213
タイプD 専業主婦(夫)	310	315	314	305	292
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	536	544	543	528	504

(充足率)
55.2%

②<2号認定>(幼稚園)

人

	H27	H28	H29	H30	H31
タイプA ひとり親	29	29	29	29	27
タイプB フルタイム×フルタイム	87	88	88	86	82
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	23	24	23	23	22
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	139	141	141	137	131

(充足率)
14.3%

- ・ 保育所利用

③<2号認定>(認定こども園及び保育所)

人

	H27	H28	H29	H30	H31
タイプA ひとり親	41	41	41	40	38
タイプB フルタイム×フルタイム	116	118	117	114	109
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	90	91	91	88	84
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3	3	3	3	3
全体	249	253	252	246	234

(充足率)
25.7%

<実績値>

- ・ 幼稚園利用

【各年5月1日現在】

		H21	H22	H23	H24	H25
3歳～就学前	計	634	614	639	623	581
	3歳	96	124	142	137	131
	4歳	243	239	248	235	218
	5歳	295	251	249	251	232

- ・ 保育所利用

【各年5月1日現在】

		H21	H22	H23	H24	H25
3歳～就学前	計	325	300	319	333	300
	3歳	89	112	105	102	98
	4歳	111	82	121	100	98
	5歳	125	106	93	131	104

※認可外保育所及び事業所内保育所を含む

【参考】

・公立保育所定員数

(H25.5.1 現在)	0歳	1歳	2歳	3歳	4～5歳	計
定員数	36	51	90	117	246	540
利用者数	10	58	54	87	198	407

・教育・保育実績数

各年度5月1日現在

		H21	H22	H23	H24	H25
0歳児	公立保育	16	22	12	21	10
	認可外保育	3		0	2	0
	事業所内保育	5		4	7	5
1歳児	公立保育	53	54	59	46	58
	認可外保育	5		3	1	4
	事業所内保育	10		14	8	12
2歳児	公立保育	84	75	81	75	54
	認可外保育	5		5	3	4
	事業所内保育	15		15	14	6
3歳児	公立保育	75	112	90	94	87
	認可外保育	3		4	3	1
	事業所内保育	11		11	5	10
	幼稚園	96	124	142	137	131
4歳児	公立保育	107	82	117	100	97
	認可外保育	1		2	0	1
	事業所内保育	3		2	0	0
	幼稚園	243	239	248	235	218
5歳児	公立保育	119	106	86	128	101
	認可外保育	1		0	1	0
	事業所内保育	5		7	2	3
	幼稚園	295	251	249	251	232

(3)「量の見込み」設定に向けたポイント

<0歳児>3号認定

- ・ニーズ調査結果が実績を大きく上回っている。
- ・これは調査内容とニーズ量算出方法の問題でもあり、現在国において精査方法を検討しているところ。
- ・現状では、0歳児保育は経年で見ても定員を下回る利用状況となっている。
- ・今後の国の精査方針を参考にしつつも、現状では実績を基に今後の見込みを考えるのが妥当であり、整備量としては現状維持が妥当である。

<1-2歳児>3号認定

- ・ニーズ調査結果が実績を上回っている。
- ・これは調査内容とニーズ量算出方法の問題でもあり、現在国において精査方法を検討しているところ。
- ・現状では、公立保育所の利用実績は定員に満たない状況となっている。また、公立保育所の定員数は、ニーズ調査結果における「ひとり親家庭」、「両親ともフルタイム家庭」のニーズ量よりも多くなっている。
- ・ポイントになるのは、「母親パートタイム」による利用増の見込みであるが、計画期間中に10%以上の人口減少が想定されていることもあり、整備量は現状維持が妥当である。
- ・また、実績を見ると事業所内保育の利用が保育所利用者の1割以上を占めていることもポイントである。働きやすさの観点からも、今後も事業所内保育による一定量を確保していくことが大切である。

<3歳～就学前>1号・2号認定

- ・ニーズ調査結果が実績を上回っている。
- ・ニーズ調査結果では2号認定による幼稚園利用希望が比較的多く出ている。
- ・一方で、実績推移としては、公立保育所の利用実績は定員に満たない状況であり、幼稚園利用もここ数年は減少傾向となっている。
- ・ポイントになるのは、2号認定（ひとり親世帯や両親とも就労世帯）による幼稚園利用意向の動向であるが、計画期間中に10%以上の人口減少が想定されていることから、整備量は現状維持が妥当である。
- ・認定こども園への移行状況や補完する事業である時間外保育、一時預かり等の供給量とともに利用のしやすさを検討していく。

V. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み

①時間外保育事業

(1) ワークシートによる算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

$$\begin{aligned} & \text{「推計児童数（人）」} \times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家族類型別児童数」} \\ & \text{「家族類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向率（割合）」} = \text{「量の見込み（人）」} \end{aligned}$$

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	0～5歳	今後利用したい事業として下記のいずれかを選択し、かつ利用終了希望時間が18時以降の者の割合 <ul style="list-style-type: none"> ・認可保育所 ・認定こども園 ・小規模な保育施設 ・家庭的保育（保育ママ） ・認可保育所 ・事業所内保育施設 ・その他の認可外保育施設 ・居宅訪問型保育

(2) ニーズ調査結果と実績値

	H27	H28	H29	H30	H31	
タイプA ひとり親	6	6	6	6	6	
タイプB フルタイム×フルタイム	44	44	43	42	41	
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	9	9	9	9	9	
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0	
全体	60	59	58	57	55	(充足率)
						3.1%

<実績値>

	H21	H22	H23	H24	H25
実施施設数	5	5	5	5	5
利用実人数	211	177	199	195	182

■延長保育：普通保育の開所時間（7：15～18：15）の終了後、19：15までの1時間について延長保育を実施する。（※普通保育料とは別に1日200円を徴収する。）

・延長保育・・・利用実人数及び延べ利用日数
 H23年度 199人 3,613日
 H24年度 195人 3,353日

(3) 「量の見込み」設定に向けたポイント

- ・ニーズ調査結果が実績を下回っているが、アンケート結果では18時台の保育所利用希望は約4割あり、現状の利用者数400人を基にすると160人程度の利用意向となる。
- ・実績値は利用意向と同等であり、整備量としては現状維持が妥当である。

②放課後児童健全育成事業（学童クラブ）

(1) ワークシートによる算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

$$\begin{aligned} & \text{「推計児童数（人）」} \times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家族類型別児童数」} \\ & \text{「家族類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向率（割合）」} = \text{「量の見込み（人）」} \end{aligned}$$

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	5歳	放課後の時間を過ごさせたい場所で下記を選択した者の割合 ・放課後児童クラブ

(2) ニーズ調査結果と実績値

<低学年>

	人				
	H27	H28	H29	H30	H31
タイプA ひとり親	50	46	43	41	42
タイプB フルタイム×フルタイム	168	155	145	139	141
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	80	74	69	66	67
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	298	276	258	246	250

<高学年>

	人				
	H27	H28	H29	H30	H31
タイプA ひとり親	19	19	19	19	17
タイプB フルタイム×フルタイム	87	84	84	84	78
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	31	30	30	30	28
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	138	133	133	133	123

<実績値> (年度末現在)

5歳児

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
登録者数	69 名	78 名	52 名	68 名	107 名

1～3年生

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
登録者数	147	151	145	147	198

4～6年生

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
登録者数	19	15	4	11	15

※平成 24 年 10 月から登別児童クラブが開所し、現在市内 7 施設で実施。

※平成 26 年度から富岸児童クラブは、入所者数増に伴い別室を利用。民間委託も検討中。

(3) 「量の見込み」設定に向けたポイント

- ・ニーズ調査結果が実績を上回っている。
- ・実績値は平成 25 年度で 200 人程度であり、増設に伴い利用者が増えている。
- ・高学年における定期的な利用意向は 15%程度であり、高学年での利用を加味した整備が必要である。

③子育て短期支援事業

(1) ワークシートによる算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

$$\begin{aligned} & \text{「推計児童数(人)」} \times \text{「潜在家庭類型(割合)」} = \text{「家族類型別児童数」} \\ & \text{「家族類型別児童数(人)」} \times \text{「利用意向率(割合)」} \times \text{「利用意向日数・回数(日・回)」} = \text{「量の見込み(人日・人回)」} \end{aligned}$$

利用意向(率)の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
すべての家族類型	0～5歳	<p>利用意向率 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった者のうち、次の対処方法を選んだ者の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもだけで留守番をさせた <p>利用意向日数 下記の者の1年間の平均日数</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

※利用意向率の設定について

手引きでは、「ショートステイを利用した」を回答した者の割合とその平均日数を計上する設定となっているが、市では現在実施していない事業のため、この選択肢がない。

(2) ニーズ調査結果と実績値

	人日/年				
	H27	H28	H29	H30	H31
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	0	0	0	0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	0	0	0	0	0

<実績値> (こどもショートステイ事業)

事業内容：保護者の疾病等の特別な事情により家庭での養育が一時的に困難となった児童を、児童養護施設で養育する。 委託先：室蘭言泉学園

こどもショートステイ事業実績

	H21	H22	H23	H24	H25
利用者数	0	1	0	0	0

※平成23年度から実績0

(3) 「量の見込み」設定に向けたポイント

- ・実績、ニーズ調査結果ともに0となっている。
- ・政策的な判断から整備量を検討する。

④地域子育て支援拠点事業

(1) ワークシートによる算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」＝「家族類型別児童数」

「家族類型別児童数(人)」×「利用意向率(割合)」×「利用意向日数・回数(日・回)」＝「量の見込み(人日・回)」

利用意向(率)の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
すべての家族類型	0～2歳	<p>利用意向率 下記の事業を現在利用している者と今後利用したい者の割合 ・実施している地域の子育て支援事業 (子育て支援センター・子育てひろば)</p> <p>利用意向回数 現在利用している者、今後利用したい者、今後利用日数を増やしたい者の月あたり平均利用回数</p>

(2) ニーズ調査結果と実績値

	人回/月				
	H27	H28	H29	H30	H31
タイプA ひとり親	23	22	21	21	20
タイプB フルタイム×フルタイム	100	96	93	91	89
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	59	57	55	54	53
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	154	147	143	139	137
タイプD 専業主婦(夫)	850	811	790	771	759
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	1,185	1,132	1,102	1,076	1,059

【注】0～2歳以下家庭のみ

<実績値>

	H21	H22	H23	H24	H25
実施施設数	2	3	3	3	3
月平均利用者数	795	1,095	1,284	1,533	1,722

※上の実績値は、次ページ（参考）の「富岸子育てひろば」と「中央子育て支援センター（センターの開放）」、「登別子育て支援センター（センターの開放）」の実績人数の合計を12か月で割り返したものの。

【参考】

地域子育て支援拠点事業実績

		H21	H22	H23	H24	H25
富岸子育てひろば			3,538人	6,973人	9,045人	10,948人
中央子育て支援センター	育児相談	214人	169人	129人	147人	255人
	子育て講座	166人	149人	147人	154人	148人
	あそびの紹介	332人	316人	356人	357人	312人
	父親開放日	人	人	人	人	人
	センターの開放	4,567人	5,363人	5,707人	5,155人	5,602人
	育児サークルの育成・支援	523人	267人	243人	173人	138人
	保育所開放事業	474人	395人	533人	425人	486人
	児童用図書の貸し出し	746人	770人	702人	538人	435人
	移動子育て支援センター事業	625人	569人	463人	432人	614人
	計	7,647人	7,998人	8,280人	7,381人	7,990人
登別子育て支援センター	育児相談	53人	46人	52人	81人	149人
	子育て講座	36人	230人	375人	358人	403人
	あそびの紹介	537人	456人	93人	185人	217人
	父親開放日	106人	126人	73人	82人	85人
	センターの開放	4,971人	4,239人	2,725人	4,196人	4,117人
	育児サークルの育成・支援	人	人	人	人	人
	保育所開放事業	人	人	人	人	人
	児童用図書の貸し出し	546人	487人	299人	248人	188人
	移動子育て支援センター事業	人	人	人	人	人
	計	6,249人	5,584人	3,617人	5,150人	5,159人

(3)「量の見込み」設定に向けたポイント

- ・ニーズ調査結果が実績を下回っている。
- ・利用実績は延べ数からの換算値であり、より広いニーズがあると想定できる。
- ・できるだけ身近な地域で利用できるよう、整備を検討する必要がある。

⑤一時預かり事業等（一時預かり事業、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）、ファミリーサポートセンター事業（病児・緊急対応強化事業を除く））

（１）ワークシートによる算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

$$\text{「推計児童数（人）」} \times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家族類型別児童数」}$$

$$\text{「家族類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向率（割合）」} \times \text{「利用意向日数・回数（日・回）」} = \text{「量の見込み（人日・回）」}$$

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

（ア）幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
1号認定 タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプD（専業主婦（夫）） タイプE（パートタイム×パートタイム） タイプF（無業×無業）	3～5歳	<u>利用意向率</u> 下記の者の割合 ア「1号認定の不定期事業の利用希望者の割合」 イ「不定期事業を利用している幼稚園利用者の一時預かりの利用割合 または 幼稚園の預かり保育の利用割合」 <u>利用意向日数</u> 不定期事業の利用意向のある者の1年間の平均日数
2号認定 タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）		<u>利用意向率</u> 1.0（100%）※手引きにて指定 <u>利用意向日数</u> 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される者の就労日数

（イ）幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
すべての家族類型	0～5歳	<u>利用意向率</u> 不定期事業の利用希望のある者の割合 <u>利用意向日数</u> 不定期事業の利用意向のある者の1年間の平均日数

(2) ニーズ調査結果と実績値

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)>

人日/年

	H27	H28	H29	H30	H31
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	990	1,006	1,004	976	932
タイプD 専業主婦(夫)	956	971	969	942	900
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	1,947	1,977	1,973	1,919	1,832

<2号認定による定期的な利用>

人日/年

	H27	H28	H29	H30	H31
タイプA ひとり親	6,660	6,763	6,749	6,564	6,268
タイプB フルタイム×フルタイム	22,603	22,953	22,906	22,277	21,275
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	4,864	4,940	4,930	4,794	4,579
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	34,127	34,655	34,585	33,635	32,122

<上記以外>

人日/年

	H27	H28	H29	H30	H31
タイプA ひとり親	558	550	542	528	512
タイプB フルタイム×フルタイム	4,372	4,309	4,249	4,141	4,011
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	2,127	2,097	2,068	2,015	1,952
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	1,056	1,011	985	962	945
タイプD 専業主婦(夫)	3,062	2,989	2,937	2,863	2,786
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	153	151	149	145	140
全体	11,328	11,105	10,929	10,653	10,346

<実績値>

○幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)実施状況

	H21	H22	H23	H24	H25
実施施設数	4	4	4	4	4
利用者数	10,691	11,086	11,695	13,162	11,011

※上の実績値は延べ利用人数(H21は一園(カトリック幼稚園)利用者が不明)

○幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)以外の実施状況(保育所等)

	H21	H22	H23	H24	H25
実施施設数	1	1	1	1	1
利用者数	799	413	376	633	511

※上の実績値は延べ利用人数

○「トワイライトステイ事業」は実績なし

○ファミリーサポートセンター年度別・利用時間帯別利用者数（就学前児童 0～5 歳児対象）
（年度末現在）

利用時間帯	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
7:00～9:00	13 件	12 件	8 件	55 件
9:00～12:00	139 件	234 件	240 件	89 件
12:00～17:00	292 件	371 件	493 件	289 件
17:00～21:00	128 件	66 件	106 件	133 件
21:00～7:00	0 件	0 件	0 件	0 件
終日	426 件	175 件	37 件	62 件
計	998 件	858 件	884 件	628 件

※ファミサポ会員登録者数はH25 年度末で 948 名、年間 60 名ほど会員数は増加している。

（3）「量の見込み」設定に向けたポイント

- ・ニーズ調査結果が実績を上回っている。
- ・市内の私立幼稚園 4 園全てで預かり保育（在園児対象）を実施している。
- ・ファミリーサポートセンターにおける利用動向は、会員数は増加しているものの、利用件数には減少傾向がみられる。利用方法の周知とともに、利用のしやすさの取り組みや提供会員を確保していくことでより広いニーズへの対応が可能である。
- ・ファミリーサポートセンターは住民相互の主體的な活動であることから、見込み量としては実績を基に算出していく。

⑥病児・病後児保育事業

(1) ワークシートによる算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」＝「家族類型別児童数」

「家族類型別児童数(人)」×「利用意向率(割合)」×「利用意向日数・回数(日・回)」＝「量の見込み(人日・人回)」

利用意向(率)の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
タイプA(ひとり親家庭) タイプB(フルタイム×フルタイム) タイプC(フルタイム×パートタイム) タイプE(パートタイム×パートタイム)	0～5歳	利用意向率 病気やけがで父親または母親が休んで対処した者のうち下記の者の割合。 <ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育施設等の利用を希望する者 ・病児・病後児保育施設等の利用した者 ・ファミサボを利用した者 ・仕方なく子どもだけで留守番させた者 利用意向日数 下記の対処をした者の日数の総計を、利用意向のある実人数で割ったもの

(2) ニーズ調査結果と実績値

<0～5歳以下家庭のみ>

人日/年

	H27	H28	H29	H30	H31
タイプA ひとり親	282	278	274	267	259
タイプB フルタイム×フルタイム	1,994	1,965	1,938	1,888	1,829
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	370	365	360	350	339
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
全体	2,646	2,607	2,572	2,506	2,427

<実績値>

※病児・病後児保育は、登別市では実施していないため実績無し。

※近隣市の状況では、病児・病後児保育を保育所内で実施している状況がある。しかし、院内保育は実施していたが、決められた場所等の指定が多いため、利用者が少なく昨年事業中止となった。

(3) 「量の見込み」設定に向けたポイント

○ニーズはあるが提供が困難である。政策的判断が必要。

⑦ファミリーサポートセンター事業（就学児のみ）

（１）ワークシートによる算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数」

「家族類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」×「利用意向日数・回数（日・回）」＝「量の見込み（人日・人回）」

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
すべての家族類型	5歳	利用意向率 放課後の時間を過ごさせたい場所に下記を選択した者の割合。 ・ファミリー・サポート・センター 利用意向日数 ファミリー・サポート・センター利用希望者の週当たりの日数

（２）ニーズ調査結果と実績値

<低学年>

人日/週

	H27	H28	H29	H30	H31
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	8	8	7	7	7
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	50	46	43	41	42
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	33	31	29	28	28
タイプD 専業主婦(夫)	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	92	85	79	76	77

<高学年>

人日/週

	H27	H28	H29	H30	H31
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	9	8	8	8	8
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	35	33	33	33	31
タイプD 専業主婦(夫)	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	43	42	42	42	39

<実績値>

○ ファミリーサポートセンター年度別・利用時間別利用者数（就学児童対象）

（年度末現在）

利用時間帯	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
7:00～9:00	322 件	384 件	472 件	326 件
9:00～12:00	15 件	13 件	30 件	12 件
12:00～17:00	671 件	713 件	611 件	742 件
17:00～21:00	285 件	464 件	362 件	702 件
21:00～7:00	3 件	24 件	38 件	27 件
終 日	83 件	50 件	5 件	5 件
計	1,379 件	1,648 件	1,518 件	1,814 件

※ファミサポの利用において就学前児童、就学児童を含め最も多いのは、平成 25 年度では「学童の通学援助」、「放課後児童クラブの迎え」、「子どもの習い事等の場所の援助」、「放課後児童クラブ終了後の預かり」、「保育所・幼稚園の迎え」、「保育所・幼稚園の帰宅後の預かり」の順となっている。

平成 24 年度は「学童の通学援助」、「子どもの習い事等の場合の援助」、「放課後児童クラブの迎え」、「保育所・幼稚園の迎え」、「通院・療育の付き添いなど」の順となっている。

（3）「量の見込み」設定に向けたポイント

- ・ ニーズ調査結果が実績を上回っている。
- ・ ファミリーサポートセンターの利用実績は増加傾向にある。
- ・ 利用方法の周知とともに、利用のしやすさの取り組みや提供会員を確保していくことでより広いニーズへの対応が可能である。
- ・ ファミリーサポートセンターは住民相互の主体的な活動であることから、見込み量としては実績を基に算出していく。